

グループディスカッション

テーマ：女性の視点を踏まえた避難所運営について

災害は、地震、津波、風水害等の自然現象（自然要因）とそれを受け止める側の社会の在り方（社会要因）により、その被害の大きさが決まってくると考えられています。性別、年齢や障害の有無など様々な社会的状況によって影響は異なり、社会要因による災害時の困難を最小限にすることが重要です。

東日本大震災をはじめとするこれまでの災害において、様々な意思決定過程への女性の参画が十分に確保されず、女性と男性のニーズの違いなどが配慮されないといったことや、防犯上の課題等が生じました。

こうした観点から、避難所運営をはじめとした災害対応に女性の視点を考慮することは非常に重要です。

住吉区においても「女性の視点を踏まえた避難所運営」を重点項目としており、みなさまに議論いただいたイメージやアイデアを基に、事業に活かしていきたいと考えています。

また、この取組を進めることは、子供や若者、高齢の方、障害のある方、トランスジェンダーの方など、多様な方々への配慮にも資するものと考えています。

【グループディスカッションの方法】

- ◆各グループに防災専門会議委員と職員（計9名）で行います。
 - ・各グループのファシリテーター及び書記は職員が行います。
 - ・発表は専門会議委員の中から決めていただきます。
- ◆大きく分けて2点のグループディスカッションを行います。
 - 1 「女性の視点を踏まえた避難所運営」について大事だと思うこと
 - 2 実際の避難所図面を見ながらどのように対応できるか
- ◆まず、「女性の視点を踏まえた避難所運営」について大事だと思うことについて、3つずつ付箋に記載していただき、その後ファシリテーター（職員）の進行によりご意見を述べてください。
- ◆専門会議委員、職員に関わらずグループ内で一緒に意見交換していただき、ご意見等は実現性の有無にかかわらず自由な視点でご発言ください。
ただし、他のご意見等の否定的、批判的なご発言は控えてください。
なお、職員への質問の場ではありませんので、質問はお控えください。
- ◆書記役（職員）が発言されたご意見等を簡潔に記録します。
- ◆ディスカッションごとに発表役（専門会議委員）から記録された内容により3分程度で発表していただきます。

《グループメンバー》

| グループ | 区分 | 部署等 | メンバー | 役割 |
|------|--------|------------|-----------|----------|
| A | 委員 | — | 上田 委員 | |
| | 委員 | — | 石橋 委員 | |
| | 委員 | — | 原田 委員 | |
| | 委員 | — | 篠原 委員 | |
| | 職員 | — | 平澤 区長 | |
| | 職員 | 地域課 | 小林 課長 | ファシリテーター |
| | オブザーバー | 住吉消防署 | 池田 地域担当司令 | |
| | 職員 | 地域課 | 次井 担当係長 | 書記 |
| | 職員 | 保健福祉課(保健師) | 宮原 | |
| B | 委員 | — | 生田 委員長 | |
| | 委員 | — | 井西 委員 | |
| | 委員 | — | 小林 委員 | |
| | 委員 | — | 畠 委員 | |
| | 委員 | — | 松岡 委員 | |
| | 職員 | — | 樋口 副区長 | |
| | 職員 | 保健福祉課(保健師) | 仲間 保健主幹 | |
| | 職員 | 地域課 | 大宅 課長代理 | ファシリテーター |
| | 職員 | 地域課 | 東森 | 書記 |